

第27回

成蹊桜祭

日時：平成16年4月4日(日)

〔雨天決行〕

午前11時～午後4時

会場：成蹊学園内

主催：社団法人 成蹊会
(成蹊桜祭実行委員会)

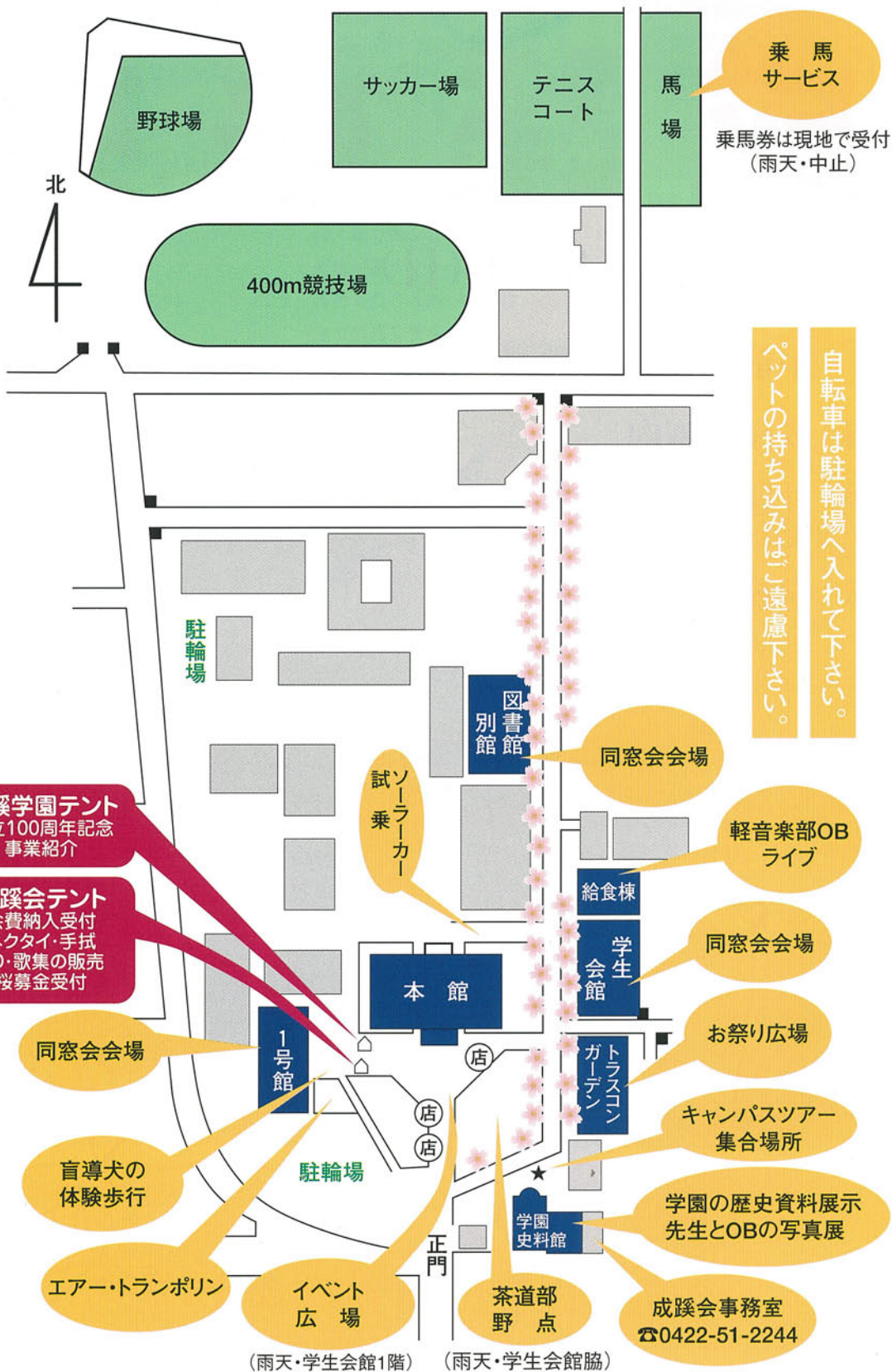
後援：学校法人 成蹊学園



Seikei Alumni Association

図案：成蹊高等学校2年
山本 浩子

● 学園案内図 ●



鍛錬主義の教育

— 創立者 中村春二先生の教育方針 —

大正7年12月
成蹊実務学校
雪中裸体訓練



大正期
中学校 夏の作業

大正末期
女学校生徒と小学校5・6年
女児に「なぎなた」を教える



昭和26年
夏の学校（波佐間）5年生「すもう」
夏の学校は大正期から継続して行
われている

「最良の教育は愛撫に非ず、鍛錬にあり」

上田 祥士

成蹊学園の創立者・中村春二先生はあらゆる手段を講じて生徒、児童の魂をゆさぶり、ご自身の信じる精神を伝えようとしました。

「凝念」においては「自らの意志で観察したり聞いたりする集中心を養う」ことを主な目的とし、「心力歌」においては「我々の心は喜怒哀楽に悩んでいるが、奥底には天地万物とも通じるような普遍的な精神があり、想像も及ばぬ微妙な働きをするのだから、絶えずこれを磨かなければならない」ということを強調されました。

中村先生が「凝念」、「心力歌」と同様に重視された今年の桜祭りのテーマである「鍛錬主義の教育」とは生徒、児童を過酷な条件の下に突き放し、肉体のみならず心魂、精神力を鍛えるために行われた教育方法を指します。具体的には徹夜会、断食会、試胆会、富士山夜行登山、凝念の中でも極寒期の裸体凝念、夏期の綿入れ凝念（綿入れを着て炎天下で行う）、労働・作業、夏の学校などがこの範疇に入ります。中村先生をはじめとして当時の先生は、これらの教育を先頭に立って手本を示しながら父兄の協力、理解の下で生徒、児童を指導なさいました。

中村先生はこうおっしゃっています。

「鍛錬行為は幼時より行はなければ長じて後に只苦痛のみ多く、得るところは極めて少ないのである。…肉体的の圧迫である寒暑などは気構へさへ慥かに置きさへすれば容易に撃退し得るのである。この容易なる圧迫を撃退得ずしてどうして精神上の圧迫を撃退し、端然として座し、欣々として突進するやうな境地に至り得やう。」

すなわち鍛錬的行為によって艱難辛苦に打ち勝つ自信を持つことにより体の鍛錬のみならず精神力も鍛錬され、どんな困難にも耐え得る力を持つことができるということです。

中村先生は成蹊教育の根底をなすのは自奮自発の精神であるとされました。それを獲得するためには結局精神力が最も重要であるとの認識から、精神力の鍛錬のために鍛錬主義の教育方法が用いられた訳です。このような「鍛錬主義の教育」が「凝念」、「心力歌」と共に中村先生の「人間いかに生きるか」を教える教育の骨子といえるものでした。

これらの「魂を揺さぶる教育」が師弟同行で行われた池袋時代の成蹊学園はまさに「教育道場」、「魂の道場」であり、近代日本における行的教育の先駆であったと思います。

凝念：岡田式静坐法に坐禅の精神を取り入れたもの。

心力歌：大正二年、中村春二先生が成蹊実務学校教師、小林一郎先生に依頼してつくられたもの。当時の生徒、児童、教職員は凝念の際に唱和した。

上田 祥士（うえだ しょうじ）

成蹊高等学校同窓会幹事長。成蹊学園校医（歯科）。
共著『大正自由教育の旗手—実践の中村春二・思想の三浦修吾—』（小学館スクウェア）

● 桜祭各会場の紹介 ●

● 第1会場	イベント広場 (本館前)	プログラムは下記(雨天:学生会館) ……………	11:00~16:00
● 第2会場	トラスコガーデン	お祭り広場 ……………	11:00~15:30
● 第3会場	前庭・桜並木	模擬店出店 ……………	11:00~15:30
		茶道部野点(雨天:学生会館脇)	
● 第4会場	馬場	乗馬サービス(雨天:中止) ……………	13:00~15:00
		(乗馬券は現地で受付/馬術部)	
● 第5会場	本館北側	ソーラーカー試乗 ……………	12:00~15:00
● 第6会場	1号館前	エア・トランポリン ……………	12:00~15:00
		盲導犬の体験歩行(アイメイト協会)	
● 第7会場	1号館 学生会館 図書館別館	各同窓会・各クラス会 ……………	11:00~15:00
● 第8会場	第2学生食堂(小学校給食棟3階)	軽音楽部ライブ ……………	11:00~15:00
● 第9会場	学園史料館	①卒業生よりの寄贈品の紹介 ……………	11:00~15:30
		②先生とOBの写真展 ……………	11:00~15:30

★キャンパスツアー (集合場所: 学園史料館)

「母校の現在」を知っていただくために構内ツアーを行います。

集合時間は、12時、13時、14時の3回実施(予定)します(所要時間は約40分)。

★イベント広場プログラム (予定)

	司会:	望月 滋実(文・平成元年卒) 元テレビ朝日アナウンサー
		田島 葉子(文・平成13年卒) テレビ金沢アナウンサー
11:00	オープニング	小学校和太鼓
	開会の挨拶	桜祭実行委員会委員長
11:30	寮歌	旧制高等学校有志
11:50	休憩	
11:55	演奏	OBオーケストラ・コーラス
12:40	演奏	中高ウインドオーケストラ
	演奏	中高ウインドオーケストラOBバンド
13:30	演奏	大学応援指導部チアリーダー
13:50	演奏	ベンチャーズバンド (OB)
14:30	演奏	コンパルサウンズ (OB)
15:10	演奏	ケンタッキーキャピナーズ (OB)
15:55	閉会の挨拶	桜祭実行委員会副委員長

※雨天の場合は時間を変更して学生会館1階で行います。

納めてますか? 成蹊会費

桜祭は成蹊会費と成蹊学園の協賛金によって運営されています。
成蹊会年会費のご納入はその都度お手数をお掛けしない「預金口座」
「成蹊DCカード」をご利用ください。

(成蹊会 ☎0422-51-2244)

校 歌 作詞／志田義秀 作曲／信時 潔

- | | | |
|---|--|--|
| 一、土の育くむ 武蔵野の林
空を限りて 秩父連峰走る
聞けよ吾等が 心力歌の生命
この地この歌 吾等讃えむ
その名 おお 成蹊 | 二、きのうの吾を 超えし輝き尊し
吾が野に萌ゆる 草の語るに聞くかずや
白光の空 高くそそる筑波と
共に向上の 吾等の姿
その名 おお 成蹊 | 三、宇は大なり 母校成蹊の宇
一つに集う 族吾等の園の
愛の象徴 井の頭の泉よ
陽は野の上に 吾等の上に
その名 おお 成蹊 |
|---|--|--|

虹芝寮歌(山の友によせて) 作詞・作曲／戸田豊鐵

- | | | |
|---|---|---|
| 一、薪割り飯炊き小屋掃除
皆んなで皆んなでやったっけ
雪解け水が冷たくて
苦勞したことあったっけ
今では遠く皆んな去り
友を偲んで仰ぐ雲 | 二、前傾 外傾 全制動
皆んなで皆んなでやったっけ
新雪が深くてラッセルに
苦勞したことあったっけ
今では遠く皆んな去り
友に便りの筆をとる | 三、唐松萌ゆる春山に
皆んなで皆んなで行ったっけ
思わぬ残雪に輪カンはき
苦勞したことあったっけ
今では遠く皆んな去り
友の姿を夢に見る |
|---|---|---|

成蹊踊り 作詞／西原慶一 作曲／草川 信

- | | | |
|--|--|---|
| 暁の弦月 秩父の山よ
アホッヤレホイ アホッヤレホイ
京は都の ほのあかり
アホッヤレホイ アホッヤレホイ | 見よや日輪 東の空よ
アホッヤレホイ アホッヤレホイ
ひかり金色 身をてらす
アホッヤレホイ アホッヤレホイ | 知るや 知らずや成蹊魂
アホッヤレホイ アホッヤレホイ
月と日におく こゝろ意気
アホッヤレホイ アホッヤレホイ |
| 目醒めかんばし ひろ野の風よ
アホッヤレホイ アホッヤレホイ
成蹊をのこの頬を吹く
アホッヤレホイ アホッヤレホイ | 立てや 立てや 男の子の意気よ
アホッヤレホイ アホッヤレホイ
若き血潮の 燃ゆるまゝ
アホッヤレホイ アホッヤレホイ | |

桜募金のお願い

成蹊の桜の保存と整備など学園の環境整備のための募金にご協力下さい。

成蹊学園の桜は櫻と並ぶ学園を象徴する樹木です。構内には大正13年に学園が池袋から吉祥寺に移転してきた際に、櫻とともに植えられたソメイヨシノの桜並木(樹齢80年以上)のほかにはヤエザクラ、シダレザクラなど120本を超える桜があります。

学園史料館に貴重な手持ち資料のご寄贈を

お手持ちの品(写真、教科書、教材、文集、賞状、各種ユニフォームなど)で、ご寄贈いただけるものがございましたら、ご連絡をお願い致します。写真は複写した後、返却致します。書き込みや破損も歴史を物語る証です。現存のままでご寄贈いただければ幸いに存じます。来る2012年に迎える学園創立100周年に向けて、今後とも一層のご協力をよろしくお願い致します。

学園史料館 TEL. 0422-37-3517 FAX. 0422-37-3704

■成蹊会のホームページ <http://www.seikei.ac.jp/seikeikai/>

成蹊会の最新情報満載のホームページです。是非クリックしてみてください。
(会員の住所変更等の手続きはホームページ上からも可能です)

■成蹊会にメールをください! seikeikai@jim.seikei.ac.jp

今日の成蹊桜祭のご感想・ご意見・ご希望など皆様の声を送ってください。